



1. およそ600発の花火が2カ所から同時に打ち上げられ、冬の夜空を彩った / 2. 須田市長らがイルミネーションを点灯した / 3. 溢れる光が親子を包む

## 「早期復興と感染終息を願う」

昨年末、梁川美術館前の大木が美しいイルミネーションで彩られました。商店街や地域の活力を取り戻そうとまちづくり梁川が主催したものです。イルミネーションの点灯式が行われた12月24日には、点灯と同時に伊達のふる里まつり実行委員会連合会による花火の打ち上げも行われました。混雑緩和のためサプライズでの開催となりましたが、居合わせた人たちは冬の夜空を彩る大輪の花火に癒された様子でした。

### 市長コラム



#### 第29回 若い皆さんへお願い

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。特に若者の感染が増加しています。県内感染者のうち30代以下の感染者の割合は、昨年11月32%、12月42%、そして今年1月は51%と半数を超えており、急速に若い世代に感染が拡大しています。

若い皆さんは、感染したとしても症状が出なかったり、重症化しにくかったり“大したことはない”と考えて行動してしまうのだと思います。自由に遊びや食事に出かけられない今の状況は、皆さんにとってとてもつらいことだとも分かっています。

でも、若いからといって軽症だとは限りません。重症化し入院が長引いたり、退院した後も重度のけん怠感や息切れ、味覚障害、脱毛など強い後遺症が残り、元の生活に戻れない人が多いのも事実です。

そして、感染拡大で特に懸念されるのが医療の逼迫です。すぐに感染者を受け入れられる“即応病床”

の使用率は、県内では90%に迫っており、これ以上感染が拡大した場合には救える命も救えなくなってしまいます。どうかこの状況を他人ごとではなく自分のこととして捉えてください。

今私たちが意識すべきことは、『他の人にうつさない』ということです。「自分は感染しているかもしれない」という前提に立って、他の人にうつさないための行動をお願いします。「不要不急の外出をしない、会話をするときはマスクをする、普段一緒にいない人との食事はしない」など基本的対策を守ってください。

若い皆さんが他の人を思いやる心は誰よりも強いと思っています。どうか今は一緒に我慢を続けていきましょう。

須田博行